

# 歴史の記憶 須田剋太 「街道をゆく」 挿絵原画展 第4回 芸備の道



毛利元就の墓地にて

愛媛銀行 協賛

2016.10.1 | 土 |  
- 10.31 | 月 |

坂の上の雲ミュージアム  
2階ホール(無料)

「街道をゆく」は、作家司馬遼太郎さんの代表的な紀行文集である。この紀行文は、1971年から1996年まで25年間にわたって『週刊朝日』に連載された。

「街道をゆく」にえがかれているのは、いずれも時空を超えた旅の世界である。ここには、司馬さんの自在な思索の躍動の軌跡が、訪れた土地や人との邂逅のなかで鮮やかに文章として表現されている。

須田剋太さんの力感にあふれた挿絵は、独自の視点から自在な思索の躍動の一瞬を絵画として定着する役割をはたしているといえるだろう。本来的にそれぞれ自立した行為が、豊かな共同作業として結実する稀な事例である。

「芸備の道」の現地取材は、1979年6月4日から7日にかけておこなわれている。安芸吉田と備後三次をめぐる司馬さんと須田さんたちの旅の記録は、30数年の歳月を入れても色あせることはない。これは、これからさらに歳月をかさねてもかわることはないであろう。「街道をゆく」が、一貫して時空を超えた旅であるからだ。

坂の上の雲ミュージアム館長 松原正毅



吉田町役場



岩脇古墳



赤穂義士大石良雄手植の枝垂桜



三次にて

## 記念対談 「街道をゆく」の挿絵の魅力

ゲスト 渡辺恭伸  
(須田剋太研究会理事)

ホスト 松原正毅  
(坂の上の雲ミュージアム館長)

日時 10月2日(日)  
14:00~15:30

場所 坂の上の雲ミュージアム  
2階ホール

資料協力: 大阪府立江之子島文化芸術創造センター(所蔵先)、渡辺恭伸氏、愛媛県立図書館  
主催: 松山市(坂の上の雲ミュージアム)、四電ビジネス株式会社愛媛支店

坂の上の雲  
SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM  
ミュージアム

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地  
TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600  
URL: <http://www.sakanouenokumomuseum.jp/>

